

令和4年度
小学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

特別活動における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

特別活動における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」(小学校)

1 題材の概要

学 年：第5学年

議 題：「学級の係を決めよう」1時間扱い

目 標：学級会で話し合い、自分たちの学級が楽しく豊かになるように、児童が創意工夫して取り組むことができる係を決めることができるようにする。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・学習支援ソフトのアンケート機能の活用により、学級全体の意見を短時間で集約することができ、話し合いの時間を十分に確保することができます。
- ・集計したデータをグラフ化することにより、意見集約の状況を視覚的に示し、根拠に基づいた発表を行うことができます。

3 使用したソフトや機能

- ・学習支援ソフトのアンケート機能
- ・プレゼンテーションソフト

【参考資料】

- ・みんなで、よりよい学級・
学校生活をつくる特別活動
(小学校編)
(国立教育政策研究所)



- ・みんなで、よりよい学級・
学校生活をつくる特別活動
(小学校編 教員向け指導資料)
(国立教育政策研究所)



特別活動における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」(小学校)

4 1人1台端末の活用例

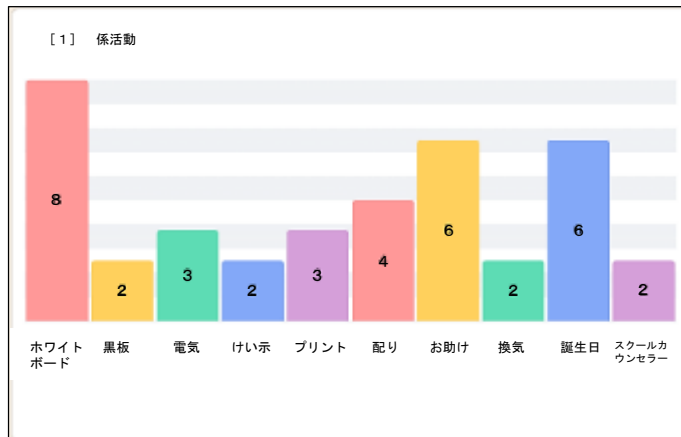
【ICTの活用場面①】



〔端末活用による全児童の考えの表出〕

- ・ 1人1台端末を活用することにより、普段は挙手をして自分の考えを発表することが苦手な児童も含めて、全ての児童が自分の意見を表出し、他者に伝えることができます。
- ・ 学習支援ソフトのアンケート機能を活用することにより、学級全体の意見を短時間で集約することができ、話合いの時間を十分に確保し、対話的な学びの充実を図ることができます。

【ICTの活用場面②】



〔集計データ等の提示による学習の深まり〕

- ・ 集計したデータをグラフに示すことにより、児童は意見の集約状況を視覚的に把握することができ、根拠に基づいた発表を行うことができます。
- ・ グラフを用いて学級の意見の傾向を示すことにより、自分と異なる意見や少数の意見を尊重する意識が高まり、安易に多数決で決定することなく、折り合いを付けて意見をまとめることができます。

特別活動における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○学級活動・児童会活動の各学習過程に合った場面で適切に活用

学習過程に応じて1人1台端末を活用する場面や活用する内容を事前によく検討し、端末を活用することが目的となった授業展開にならないように留意します。

①問題の把握、共有

1人1台端末で様々な生活場면을撮影したり、Webサイトにアクセスしたりして、必要な情報を収集し、学校生活や社会の問題を見出す。

②意見の出し合い、比べ合い

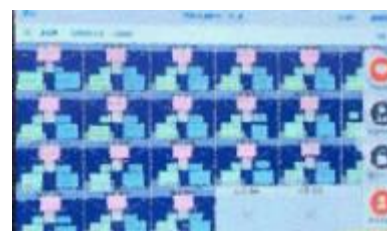
問題の把握、共有を経て、1人1台端末で個人の意見を表明し合うとともに、意見を比べ合い、整理する。

③合意形成、意思決定

話し合い活動を経て、1人1台端末を活用して解決方法を集団として合意形成、個人として意思決定する。

④実践の記録や振り返り

1人1台端末で各自の実践を撮影、編集し、他者と共有したり、互いの記録を統合したりして、次の課題解決につなぐ。



【参考資料】

- ・特別活動の指導におけるICTの効果的な活用について
(文部科学省)



【スライド資料】



【解説動画】